

# 日立建機の競争優位性

日立建機グループには、70年の歴史の中で蓄積してきた資本があります。これら6つの資本はステークホルダーの期待に応えていくための当社グループの競争優位性であり、サステナブルな価値を創造する上での源泉になっています。

(注) 数値は特に記載が無い場合、2020年度末時点のものです。



## 財務資本

### 持続的な成長を支える健全性の高い財務基盤

- 親会社株主持分 (自己資本) : 5,143 億円
- ネット有利子負債\* : 2,492 億円
- 配当性向 : 41.1% (2020年度実績)
- 企業価値の増大と株主価値向上に資する収益性とキャッシュフロー創出力

\* ネット有利子負債 = 有利子負債 - 現金および現金同等物期末残高



## 製造資本

### グローバルな製品・サービス・ソリューションの提供体制を確立

- 70年に及ぶ、世界中の社会インフラや産業を支える建設機械の開発
- 革新的で信頼性の高い「Reliable solutions」の提供
- ICT・IoTを活用したソリューションの開発・提供
- グローバル生産体制「Made by Hitachi」による世界同一品質
- グローバル拠点への投資拡大 (2027年度までに500億円)
- 生産拠点：国内14カ所、海外15カ所
- グローバルな部品再生事業の展開



## 知的資本

### 建設・マイニング機械に関する知見、ノウハウの保有

- 研究開発費 : 248 億円 (2020年度実績)
- 海外特許出願比率 : 30%以上
- 国際技能競技会開催によるグローバルでの溶接技術向上
- 建設機械・マイニングに関する知見・技術や各種特許権、現場運営のノウハウ

## 人的資本

### 「Kenkijinスピリット」を持って働く多様な従業員

- 連結従業員数 : 24,873名
- 多様な地域の従業員 : 日本39.5%、アジア・大洋州37.4%、中国10.7%、欧州2.8%、ロシアCIS・アフリカ・中近東4.8%、米州4.8%
- グローバルで共有する価値基準・行動規範「Kenkijinスピリット」
- 経営幹部を含む主任以上を対象にした「自己変革プログラム」受講者数: 国内外グループ全体で累計2,000名以上 (2021年6月現在)
- 独立社外取締役4名 (女性2名を含む)
- 高い専門性・スキルを有する人財力



## 社会・関係資本

### グローバルでのネットワークと、One Hitachiとしてのブランド力、信頼

- グローバル9事業部 (日本、アジア、大洋州、中国、インド、欧州・中東、ロシアCIS、アフリカ、米州)の販売ネットワーク
- One Hitachiとしての総合力・ブランド力
- 世界100以上の国と地域で事業を展開。生産拠点、本社、国内外代理店をつなぐネットワーク



## 自然資本

### バリューチェーン全体を通じた環境負荷低減

- 1991年に環境本部を発足以降、環境経営に注力
- SBT認定取得 (2019年)
- 環境配慮製品の機種数 : 累計259機種
- 再資源化率 (国内) : 83.3% (2020年度実績)
- 環境政策・規制において先陣を切る欧州と連携した電動化建機の開発力
- カーボンニュートラル達成に資する、長年培ってきた省エネ、低炭素化の技術
- 生産工場におけるCO<sub>2</sub>排出量削減や節水活動の展開

